

市民環境大学OB会 ニュースレター



第2号 2015年5月21日 発行

黒川清流公園のニホンタンポポ

「OB会フィールドワーク 黒川清流公園見学会」

4月16日のOB会は黒川清流公園でのフィールドワークを行いました。参加者は14名で、当日は朝から快晴で大変よい天候に恵まれました。今回の説明は黒川清流公園に大変詳しく、また“黒川清流公園徒然雑記”というホームページも開設されている田中 徹さんにおこなって頂きました。

まず最初に清水谷公園脇で飯島会長が挨拶をされた後、田中さんの案内で清流公園内の湧水地点の確認、5つの池、更にはちょうど芽吹き始めた多くの植物や野鳥（偶然に非常に珍しいアオゲラにも出会えた）が観察でき、大変有意義な見学会となりました。

湧水は清水谷公園、剣道会館そば、わきみず池、清流公園、大池など合計6か所を確認しましたが、流量もかなり多く、黒川湧水は東京の名湧水57選の一つになっています。またこの公園は敷地も広く、樹木や野草、また野鳥も多く、日野市の貴重な財産の一つとして大事に保護していきたいものです。



清水谷公園わきで挨拶される飯島会長と参加者



伐採されたキハダについて説明される田中さん

「市内定点の放射線量測定活動」

OB会による市内定点での放射線量測定は2012年3月より隔月で測定を継続していますが、2015年2月からは測定頻度を隔月から毎月とすることになりました。

測定場所は日野台地（市役所周辺）と仲田の森（多摩川の右岸・精進場・市福祉センター等）の2地域です。測定データが3年分となってきたため、3月のOB会にて佐山さんよりデータの説明があり、その後、会員の意見の取りまとめやグラフ化などのデータ整理が進められています。



多摩川右岸での測定風景



神社脇での測定風景